

令和元年度「嬉野市かがやき大学」第6回講演会

令和元年9月10日(火) 9:30～10:30

於： 嬉野市社会文化会館(リパティ)

講師 前嬉野市体育協会会長 行武 登 氏

演題 「 挑戦して生きる 」 ～日本百名山登頂、子ども囲碁の普及～



演題「挑戦して生きる」について、聴衆の方々も「百名山」への関心と子ども囲碁への興味が高く、多数の来場者がありました。行武様の真摯で情熱溢れる語り口に聴衆の皆さんも惹きこまれ、それぞれの方々のご自身の生き方にも照らし合わせながら聴かれているようでした。

30年をかけて「日本百名山」登頂を達成されたご功績は、誰もが羨むことでありましょう。気力と体力の限界に挑んで来られた勇気に賞賛の気持ちを聴衆の皆さんが持たれたようです。これからの生き方に勇気付けられたことでしょう。また、写真を拝見し、山々の壮大さや植物美しさにも心を奪われたことでしょう。

嬉野市体育協会会長としても7年間お務めになり、嬉野市の生涯体育の在り方をご自身をもって示されたことも偉大であると思います。

それから、「子ども囲碁」については、ご多忙な中に14年間に渡って、次世代育成に大きなご功績を残されてきました。講師の方々も順番に毎回講話を受け持たれ、囲碁のみならず、子ども目線の生き方、考え方、行動の指針、礼儀作法や集中力を高める学習法にも及んで指導されています。まさに青少年育成の取組でもありましょう。

あいさつをする、正座をする、きちんと礼をする、勝手もおごった態度や言動を慎むなど、子ども達にとって、家庭生活、学校生活において、ひいては、社会人としての生きる基礎を繰り返し指導されていることが、今最も必要なことでしょう。

この度のご講演から、聴衆の皆さんも自らを振り返り、また、次世代育成についても、少子高齢化の中でその必要性を再認識されたことでしょう。重要な示唆を与えていただいたと思います。

今回の受講者は174名でした。「写真から山や植物の美しさに感動した」、「百名山登頂は誰でもは成しえない」、「子どもの才能はすばらしい」などの声がありました。